

平成29年度 文教委員会資料②

【所管事務の調査（報告）】

英国オリンピック委員会との契約締結及びかわさきパラムーブメント
推進ビジョンについて

資料1 東京2020オリンピック競技大会 英国オリンピック委員会との契約締結について

資料2 第1期かわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく平成28年度の取組状況について

資料3 平成29年度川崎市東京オリンピック・パラリンピック推進事業について

市 民 文 化 局

(平成29年4月28日)

東京2020オリンピック競技大会 英国オリンピック委員会との契約締結について

1 英国オリンピック代表チーム事前キャンプ受け入れに向けたこれまでの調整状況

平成27年 3月30日	日本オリンピック委員会(JOC)と本市との間でパートナー都市協定を締結
同年 8月	英国オリンピック委員会(BOA) 川崎市等々力陸上競技場を視察、事前キャンプ実施に向けた提案書接受
同年10月	BOA 等々力陸上競技場等を視察。BOA CEOと市長が会談
平成28年 1月	英国のホスタウンとして登録(第一次登録)
同年 2月 8日	事前キャンプ受け入れに関する覚書を締結 (JOC、BOA、川崎市、横浜市、慶應義塾大学)
同年 8月	市職員による英国チームリオ大会事前キャンプ地(ブラジル・ベロオリゾンテ)視察
同年10月	市長をはじめとする川崎市視察団による英国訪問・BOAとの意見交換
平成29年 3月	BOA 等々力陸上競技場等視察
同年 3月21日	BOAと本市の間で 事前キャンプに向けた契約を締結



■リオ大会における英国オリンピック代表チーム事前キャンプ施設。複数競技団体が1都市3施設にまわって滞在し、Team GBとしての一体感のもと、事前キャンプを実施した(各練習施設と宿泊施設の間はシャトルバスで10分程度)

2 パートナーシップ及び施設貸借に関するBOAとの契約締結について

東京2020大会における英国オリンピック代表チームの事前キャンプ地である川崎市、横浜市、慶應義塾大学とBOAとの間で、事前キャンプに向けたパートナーシップ及び施設貸借に関する契約をそれぞれが締結(平成29年3月21日 慶應義塾大学日吉キャンパスにて締結式)

【契約内容】

BOAと川崎市、横浜市、慶應義塾大学それぞれが、対象施設、利用期間、競技、交流事業など、施設利用やパートナーシップについて取り決めたもの

【対象施設と実施競技】

等々力陸上競技場・補助競技場

●競技 陸上競技/サッカー/7人制ラグビー



横浜国際プール(横浜市)

●競技 水泳
(競泳、シンクロナイズドスイミング、飛込)

慶應義塾大学日吉キャンパス

●競技 アーチェリー/バドミントン/バスケットボール/ボクシング/ホッケー/フェンシング/体操/柔道/空手/近代五種/卓球/テコンドー/ウエイトリフティング

※競技については、英国チームの出場を想定した現時点での予定であり、決定されたものではない



3 主な契約内容について

【使用施設及び使用期間】

川崎市等々力陸上競技場及び競技場諸室、補助競技場 について
2020年(平成32年)7月3日から8月5日までの34日間使用する予定

【施設使用区分】

陸上競技場及び競技場諸室は「完全専用施設」
補助競技場は「共用施設」

【施設使用料】

BOAは川崎市都市公園条例等に基づき施設を使用し、使用料を支払う

【交流事業】

事前キャンプに向けたパートナーシップを形成するとともに、英国との交流の絆を深めていくため、BOA関係者による講演会や、英国代表チームによる市民向け種目別トレーニング教室の開催、公開練習、文化交流など、市民に気軽に参加いただける交流事業を実施する予定

【その他事前キャンプに向け川崎市及びBOAが協力して取り組む主な項目】

- ✓ **施設・設備関連**
事前キャンプで使用する施設及び設備のメンテナンス(川崎市)
トレーニング器材の持ち込み・設置(BOA)
- ✓ **施設のセキュリティ関連**
セキュリティ計画の立案(川崎市及びBOA)
セキュリティ担当者1名の指定(川崎市)
- ✓ **健康及び安全**
近隣病院との連携、現行の保険契約の維持(川崎市)
- ✓ **事前キャンプボランティア関連**
ボランティア計画の立案(川崎市及びBOA)
ボランティアの確保(川崎市)、ボランティア研修の実施(BOA)
- ✓ **その他**
担当者1名の指定、事前キャンプに向けた準備状況の報告(川崎市)

施設	使用施設及び使用期間	
	7/3-7/9 (7日間)	7/10-8/5 (27日間)
等々力陸上競技場 (本競技場)	セッティング	陸上(投てき以外) 7/18-8/5(19日間) 7人制ラグビー 7/13-7/23(11日間)
等々力陸上競技場 (補助競技場)	サッカー 7/10-7/16(7日間)	陸上(投てき) 7/18-8/5(19日間)



リオ大会事前キャンプ ジムスペース



同 リラクゼーションスペース

2020年の事前キャンプ実施に向け、横浜市、慶應義塾大学とも連携を図りながら、BOAと協議を重ね各種計画や交流事業の具体的な企画・実施に関する検討を進めていく

【参考】英国パラリンピック委員会(BPA)との調整状況

●視察状況

平成27年度 2回、28年度 1回 BPAによる視察受け入れ
平成28年10月 市長をはじめとする川崎市視察団による英国訪問・BPAとの意見交換

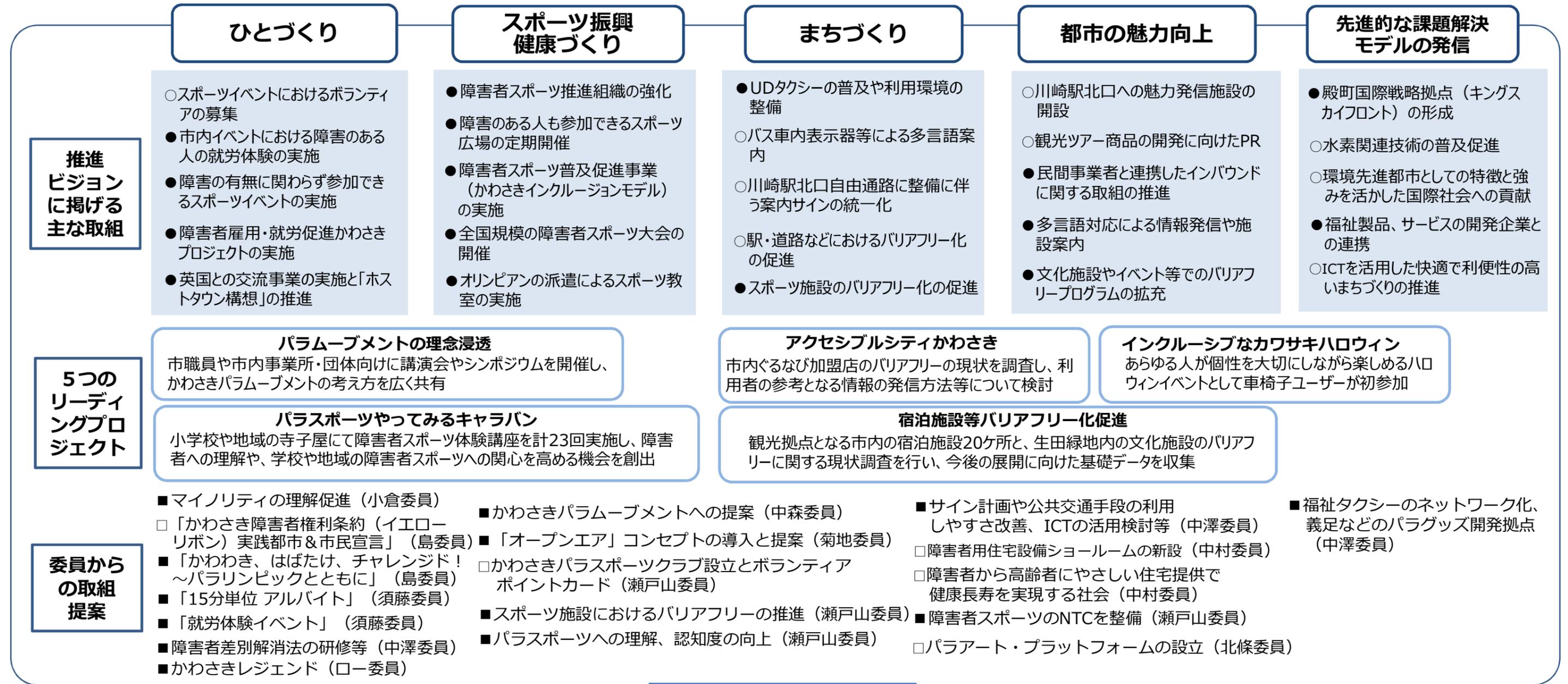
●BPAの意向等について

- (1) 競技: 陸上競技、屋内競技(ボッチャ、ウィルチェアフェンシング、パワーリフティング等)
- (2) 使用施設: 等々力陸上競技場、とどろきアリーナのほか、富士通スタジアム川崎、スポーツ・文化総合センターの利用についても可能性あり
- (3) その他
平成29年4月7日付けでBPA CEOから市長あて、川崎市における事前キャンプ実施の意向を記した趣意書(Letter of Intent)を收受
今後正式にBPAとの調整を開始し、覚書(MOU)締結に向けた協議を行っていく

推進ビジョンの概要

- 政策領域を幅広く捉える **5つの方向性** を設置
- 推進ビジョンの取組期間を **3つのフェーズ** に設定
- フェーズ I : 第1期推進期間 (2016年度～2017年度) は「**開催につなげる取組期間**」

フェーズ I の取組の方向性 : 「かわさきパラムーブメント」を中心とした東京2020大会に向けた **本市のビジョンの共有化、取組の基礎となるネットワークやしくみづくり** を重点的に推進



平成29年度の取組の方向性

- 推進ビジョンに掲げる取組について引き続き推進
- リーディングプロジェクトの成果を検証し、取組を拡充・ステップアップ
- 委員提案の取組について、既存事業へのエッセンスの取り込みやモデル事業の共同実施などを通じて、パラムーブメントの取組を強化

第2期推進ビジョンの策定に向けた考え方

- 平成30年度からフェーズ II に入る第2期推進ビジョンについて、市総合計画第2期実施計画の策定スケジュールと併せ、平成29年度中に策定
- ビジョンに掲げる取組のうち、可能なものについては数値目標を設定するなど、レガシー形成に向けた取組を「見える化」

【ひとづくり】の分野における具体的な取組状況

1 市内イベントにおける障害のある人の就労体験の実施

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】NPO法人ピープルデザイン研究所との連携により、川崎フロンターレホームゲームなど市内スポーツイベントや音楽、映画イベントなどで、福祉事業所に通う障害のある人の就労体験を実施する。

【取組結果】川崎フロンターレホームゲーム、カワサキ・ハロウィン、ベイキャンプ等のイベントにおいて就労体験を実施している。平成28年度は昨年度を上回る人数が就労を体験した。



川崎フロンターレホームゲームでの就労体験

2 障害の有無に関わらず参加できるスポーツイベントの実施

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】平成28年5月8日に開催した「セイコーゴールデングラプリ陸上2016川崎」において、市内小学生及び市内障害者陸上競技クラブを対象に障害の有無に関わらず参加できるサブイベント(50m・100mを走ろう!)を実施した。

【取組結果】サブイベントには市内の障害者陸上競技クラブ「メーヴェ陸上クラブ」から約20名が参加し、小学生と一緒にオリンピックから陸上競技の実技指導や速く走るアドバイスを受け、陸上競技場を駆け抜けた。



講師の高平選手(写真左)とハイタッチ

3 短時間雇用創出プロジェクト

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】法定雇用率の対象にならない短時間の雇用・就労の実現に向けた取組を東京大学先端科学技術研究センターとNPO法人ピープルデザイン研究所と協同で、自治体として初めて開始した。

【取組結果】市内に事業所がある企業に対して「仕事の切り出し」を依頼し、これを求人情報として提供いただいた上で、短時間の就労に結びつけている。これまでのところ、市内外15の会社、団体に協力いただき、のべ22名が就労に結び付いた。



4 英国との交流事業の実施と「ホストタウン構想」の推進

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】英国オリンピック委員会が川崎市で事前キャンプを行うことを契機として、スポーツ、文化、教育、産業など幅広い分野での英国との交流事業を実施し、国の「ホストタウン構想」を推進する。

【取組結果】音楽による文化交流として英国在住音楽家による「ジェイミーのコンサート」を平成28年6月2日に開催したほか、ブリティッシュ・カウンシルと連携したワークショップ開催等の取組を開始した。



ミュージックワークショップの様子

5 障害者によるアートデザイン活用（名刺作成）の取組支援

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】川崎市幸区の障害者通所施設「セルフきたかせ(運営:社会福祉法人長尾福祉会)」が、多数の障害者アーティストが所属する「studio FLAT」とコラボレーションし、4名のアーティストの作品を活用したアートデザイン名刺作成の取組を平成28年8月に開始した。
施設が作品の使用権を有償で借り受けることにより、その料金が障害者アーティストの収入になるほか、施設に通所する方々が名刺を手作りし、障害者の所得向上にもつながる取組となっている。



作品タイトル factory

6 外国人市民を対象とした防災の取組

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】川崎区は市内で最も多くの外国人市民が居住していることから、外国人市民の地域防災力の向上が課題となっている。そのため、平成26年度から外国人市民が多数集まる施設で、外国人市民団体等と連携し、多言語通訳付きの「外国人市民とともに考える防災フォーラム」及び「識字学級での防災講座」を開催し、防災に対する意識向上を図っている。

【取組結果】28年度は11月27日に大田区及び鶴見区と連携して防災フォーラムを、また、11月及び12月に防災講座を開催した。



体験学習の様子

7 「かわさきパラムーブメント」の理念浸透の取組

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

【取組概要】平成28年3月に策定した「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」に掲げたコンセプトや理念を職員を含め、広く市民と共有するための取組を行った。

【取組結果】
かわさきパラムーブメントシンポジウムの開催
リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会に出場された川崎ゆかりのパラリンピアンをお招きし、大会報告や競技とのかかわり方についてお話をうかがいながら、今後のかわさきパラムーブメントのビジョンを探る「かわさきパラムーブメントシンポジウムーパラアスリートたちが、社会を進化させるー」を平成28年12月1日に開催、約220名が参加した。



シンポジウムでのパネルディスカッション

ユニバーサルマナー講演会の実施
商工会議所と川崎市の共催事業として、平成28年11月24日に市職員及び市内事業所従業員向けに講演会を開催した。「バリアバリューから未来を創る」をテーマに、障害者差別解消法やすぐにでも実践できる対応について約90名が学んだ。



講演会での実践的な研修の様子

かわさきパラムーブメント広報の実施
市民に広く取組を知っていただくためパラムーブメントロゴマークや映像を作成するほか、新規サイトを開設し、29年度から戦略的な広報を開始する。

【スポーツ振興・健康づくり】の分野における具体的な取組状況

1 障害者スポーツ推進組織の強化

【取組結果】平成27年10月に創設した川崎市障害者スポーツ協会の活動として、障害者スポーツに関する情報発信や団体間のネットワークづくりのほか、市障害者スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の選手派遣等、障害者スポーツの普及に向けた取組を推進した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案

2 障害のある人も参加できるスポーツ広場の定期開催

【取組概要】障害のある人の運動機会拡充に向けて、富士通スタジアム川崎等を会場に、スポーツ広場を定期的で開催する。

【取組結果】川崎市障害者スポーツ協会による障害者スポーツに関する普及啓発イベントとして、「誰でもスポーツ広場」を平成28年8月21日と平成29年2月25日に富士通スタジアム川崎で開催した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



「誰でもスポーツ広場」の様子

3 かわさきインクルージョンモデルの実施

【取組概要】スポーツ庁委託事業として、NPO法人SELFと川崎市が、ボランティア人材の育成や情報発信など、障害者スポーツ普及に向けた仕組みづくりについてモデル事業を通じて実践研究を行う。

【取組結果】障害者と健常者が一緒に楽しむことができるスポーツプログラムの展開や、有識者を交えた研究会を定期的で開催している。平成29年1月21日には、日本スポーツ振興センターと川崎市の共催により高津スポーツセンターで開催した「スポーツインクルージョン縁日」において、かわさきインクルージョン実行委員会の協力のもと、パラスポーツ体験やオリンピックによるトークショーなどを行った。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



みんなで楽しめる卓球パレー

4 全国規模の障害者スポーツ大会の開催

【取組概要】全国規模の障害者スポーツ大会を誘致・開催し、障害者スポーツを観戦できる機会の拡充を図る。

【取組結果】日本アンパティサッカー選手権大会

「第6回日本アンパティサッカー選手権大会2016」(川崎市共催)が富士通スタジアム川崎で平成28年10月1日・2日に開催され、会場にてアンパティサッカー、車椅子バスケットボールスポーツ体験講座も実施した。

ブラインドサッカー選手権大会

富士通スタジアム川崎で「KPMGカップ ブラインドサッカークラブチーム選手権2017」(川崎市後援)を平成29年3月25日・26日に開催した。市立小学校児童も選手とのふれあいの場に参加した。

スペシャルオリンピックス日本 フロアホッケー競技会

「第4回スペシャルオリンピックス日本 関東ブロック フロアホッケー競技会」(川崎市共催)を平成28年10月29日に宮前スポーツセンターで開催し、会場にて選手との交流会や競技体験などを実施した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



© JAJA



© JBFA



5 オリンピアンへの派遣によるスポーツ教室の実施

【取組概要】JOCパートナー都市協定に基づき、オリンピックを招いたスポーツ教室や大規模スポーツ大会サブイベント等での体験会を実施する。

【取組結果】平成28年11月に市立柿生中学校において、オリンピック2名を招いたJOC「オリンピック教室」(川崎市協力)が2年生164名を対象に開催され、オリンピズムやオリンピックの価値を学んだ。また、「セイコーゴールデングランプリ陸上2016川崎」のプレイベント及びサブイベントにおいて、小中学生を対象としたオリンピック・パラリンピアンによる陸上教室、交流イベントを実施した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



6 パラスポーツやってみるキャラバン

【取組概要】リーディングプロジェクトの一つとして、小学校や地域の寺子屋の場を活用した障害者スポーツの魅力小学生たちに伝える「パラスポーツやってみるキャラバン」を平成28年度から新規に開始した。平成29年度についても、対象を拡大して事業を進める。

【取組結果】市内小学校

13校において計16回の障害者スポーツ体験講座を実施した。学校側の希望に基づいた体験競技は車椅子バスケットボール、フライングディスク、ブラインドサッカーで、合計48クラス・約1,560名の児童が障害者や障害者スポーツについて学習した。

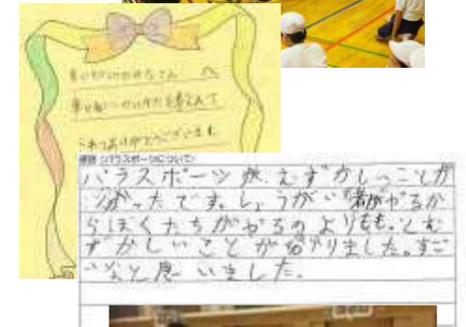
地域の寺子屋

障害者スポーツ体験希望があった地域の寺子屋4ヶ所においてブラインドサッカー及びアンパティサッカーの体験講座を実施し、小中学生及び保護者の方々約100名が体験した。

その他

田島支援学校で行われた田島中学校区内の4つの市立小中学校児童のカラーリング交流大会のプログラムの一つとしてボッチャ体験を行うなど、様々な機会を捉えて障害者スポーツ体験講座や講演会を実施した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



(上) 車椅子バスケットボール体験
(下) ボッチャ体験

【まちづくり】の分野における具体的な取組状況

1 UDタクシーの普及や利用環境の整備

【取組概要】誰でも利用可能なみんなにやさしいUDタクシーの導入補助を行うとともに、UDタクシーに対応した乗車場所の整備を進める。

【取組結果】新川崎駅前広場ロータリーUDタクシー専用乗り場にて、平成28年11月から神奈川県タクシー協会川崎支部によるUDタクシー配車システムを開始し、より安定的な配車が可能となった。なお、UDタクシーの市内導入実績は、平成28年度末時点で40台となっている。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



JR新川崎駅のUDタクシー乗り場

2 スポーツ施設におけるバリアフリーの推進

【取組概要】平成27年度までに実施した市内スポーツセンターの現地調査に基づき、28年度から3か年で優先度の高い施設や項目についてのバリアフリー化を進める。

【取組結果】スポーツ施設のバリアフリー化については、とどろきアリーナにおいて、バリアフリー化工事及びトイレの洋式化改修工事を平成28年度内に実施し、以後、順次他の施設について取組を実施していく。また、平成28年11月に、英国において障害のある人々の文化へのアクセスの改善に長年取り組んできた芸術団体シェイプ・アーツを講師に迎え、市スポーツ・文化施設関係者を対象としたワークショップや、施設のアクセス・オーディットを実施し、障害のあるアスリートや観客の視点で施設の物理的なバリアや改善の可能性について意見交換を行った。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



とどろきアリーナ、等々力陸上競技場でのアクセス・オーディットの様子

3 アクセシブルシティかわさき

【取組概要】車椅子ユーザー等障害者の視点から、外食や宿泊、観光等に関する情報を取材し、ウェブや紙媒体で情報発信を行うほか、障害者差別解消法への対応に関する事業者向けセミナーの開催など、誰もが住みやすいまちづくりへとつなげる。

【取組の方向性】

株式会社ぐるなびと川崎市の「地域活性化連携協定」に基づく事業として、市内ぐるなび加盟店舗を対象に、平成28年度中にバリアフリーの現状についてモデル調査に着手し、利用者の参考となる情報の発信方法等について検討する。

【再掲】

商工会議所と川崎市の共催事業として、平成28年11月24日に市職員及び市内事業所従業員向け障害者差別解消法などをテーマとした講演会を開催した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



店舗調査のイメージ

4 宿泊施設等バリアフリー化促進

【取組概要】観光拠点となる宿泊施設や観光施設のバリアフリーに関する現状調査を行い、障害者やインバウンド(訪日外国人旅行者)等にやさしいまちづくりを目指し、具体的な施策の検討を進める。

【取組結果】

宿泊施設調査

川崎・武蔵小杉・溝のロエリアにある20の宿泊施設を対象に調査票による現状調査及びニーズヒアリングを実施し、バリアフリー対応の現状や施設独自の取組等を確認した。

- ・どの施設も稼働率が高く、また、立地上ビジネスユースが非常に多い
- ・バリアフリールームとうたっていない客室も、バリアフリーに準じている事例や、施設側で柔軟に障害のある宿泊客の受け入れ対応を図っている事例もある。

29年度の展開に向け、宿泊施設との情報共有のあり方について所管課と検討を進める。

観光モデルエリア調査(対象:生田緑地及び緑地内の文化施設)

生田緑地への最寄り駅である向ヶ丘遊園駅や登戸駅からの経路確認や、緑地内園路及び緑地内文化施設のバリアフリーの現状調査・ヒアリング調査を実施し、課題を整理するとともに、施設管理者と情報共有を行った。

- ・生田緑地は自然の地形を生かしているため、坂道や未舗装の部分がある。
- ・生田緑地内の現在の案内は日本語のみが多い。
- ・青少年科学館、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムの3館は、どの施設についても基本的にはバリアフリー対応となっており、新しい施設になるほど設備が充実している。
- ・日本民家園は、立地やその特性上、園路や施設のバリアフリー対応が困難な部分もあるが、ソフト対応を積極的に実施している。
- ・館内の表示が日本語のみから4ヶ国語表記と施設によって異なっている。
- ・施設内カフェでは、メニューのアレルゲン表示対応を行っている事例があり、現在対応していない店舗も新年度から対応する予定である。

コストをかけずに取り組める改善事項は、それぞれの施設で積極的に取り組んでいるところであり、次年度の展開に向け、バリアフリー情報の発信手法についての具体的な検討を進める。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



宿泊施設における段差解消ブロックによる段差解消事例



生田緑地内の看板(方向、スロープの標記がある事例)



日本民家園での簡易スロープ



藤子・F・不二雄ミュージアムの手伝いが必要な方向けのインターホン

【都市の魅力向上】 【先進的な課題解決・モデルの発信】 の分野における具体的な取組状況

1 民間事業者と連携したインバウンドに関する取組の推進

【取組概要】民間事業者等と連携し、セミナーや旅行商品の開発等インバウンド(訪日外国人旅行者)誘客のための取組を行う。

【取組結果】本市と協定を締結した(株)ぐるなびとの連携により市内の飲食店等を対象としたセミナーを開催したほか、市内事業者等と連携して旅行商品の造成に向けた視察ツアーや、海外の情報発信者(インフルエンサー)を招き、SNS等を通じて市の魅力をPRした。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



市の魅力のPR(川崎大師)

2 多言語対応による情報発信や施設案内

【取組概要】ホームページの多言語対応の推進や、多言語版観光ガイドブックの発行等を進める。また、観光施設において、多言語による情報発信や音声ガイドの導入促進を図る。

【取組結果】

市の文化施設の一つである日本民家園では、古民家の解説について、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語に対応したスマートフォンによる音声ガイドを平成29年度から導入し、利用者の利便性向上、日本民家園の魅力向上を図る。

また、川崎市バスでは、到着予測時刻等の運行情報をバス停に表示する『タブレット型停留所運行情報表示器』を平成26年度から導入しており、平成29年1月29日(土)から順次日本語と英語を交互に表示する表示機を導入している。29年度は合計13ヶ所に設置する予定である。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



日本語画面と英語画面が相互に表示

3 文化施設やイベント等でのバリアフリープログラムの拡充

【取組概要】文化施設やイベント等における障害のある人や高齢者も参加しやすいバリアフリープログラムを拡充する。

【取組結果】アートセンター映像ホールでは、視覚障害者の方が鑑賞できるよう、副音声ガイド付き上映の実施など、バリアフリー上映の取組を行っている。

また、ブリティッシュ・カウンシルと連携し、平成28年10月17日に市文化施設担当者を対象に英国の芸術監督ジェニー・シーレイ氏との意見交換会を実施したほか、11月に英国芸術団体「シェイプ・アーツ」によるアクセシビリティ向上のワークショップ及びアクセス・オーディットを実施した(再掲)。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



アートセンター外観



ジェニー・シーレイ氏

4 インクルーシブなカワサキハロウィン

【取組結果】カワサキハロウィンプロジェクト委員会が実施する「カワサキハロウィン2016」ハロウィン・パレード(平成28年10月30日)へ車椅子利用者5名及び介助者が初参加した。参加者からは、「当初ははずかしかったが、沿道から声をかけられたり手を振られたり、ハイタッチ、握手など、観客の反応があたたかくとても楽しかった。」などの感想が寄せられた。参加者からのヒアリング等を踏まえ検証し、改善を図りながら、次年度以降も取組を推進していく。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



ハロウィン・パレード参加者の様子

5 殿町国際戦略拠点(キングスカイフロント)の形成

【取組概要】世界が直面している超高齢社会等の課題の解決に貢献するとともに、新産業を創出する拠点形成に取り組み、ライフイノベーションを推進する。

川崎市及び東京都は、研究開発拠点の形成が進められている殿町地区と羽田空港跡地地区を結ぶ新たな橋の都市計画事業認可を平成29年1月に、取得し、整備に着手した。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



橋りょうイメージ図

6 福祉製品、サービスの開発企業との連携

【取組概要】ウェルフェアイノベーションフォーラムの取組などにより、市内中小企業の優れた技術力などを応用した利用者のニーズに応えた福祉製品の創出や福祉産業の拡大、活性化のための取組を進める。

【取組結果】ベンチャー企業が開発した排尿予知センサー「Dfree」を介護施設での排泄ケアに使用し、介護負担の軽減と自分の力で排尿行為を目指すプロジェクトを実施。モニター評価実施者の多くが排尿タイミングの見える化によりQOLが向上するとともに、ケアの質の向上にもつなげた。

- 推進ビジョン
- リーディングプロジェクト
- 委員提案



排尿予知センサーDfree

平成 29 年度 東京オリンピック・パラリンピック推進事業について

- 平成 29 年度は、総合計画第 2 期実施計画の策定期間にあたることから、かわさきパラムーブメントの理念を全庁で改めて共有を図り、第 2 期実施計画と整合を図りながら推進ビジョンの改定に取り組む
- 市民に対してもパラムーブメントの理念や考え方の浸透に向けた取組を重点的に進め、多様な主体の連携による取組を推進し、市民を巻き込んだムーブメントとしての展開を図る

多様な主体の連携によるかわさきパラムーブメントの推進 (46,606 千円)

★は新規事業

理念の浸透に向けた事業展開 (20,000 千円)

かわさきパラムーブメント特設サイトを通じた情報発信や、今後作成予定の広報用映像等の活用を通じて、パラムーブメント推進ビジョンの取組期間である 2021 年までの戦略的な広報に段階的に取り組む。

- ★WEB 用ビジュアル素材の作成
- ★PR 映像の制作
- ★プロモーションイベントの開催

第 2 期推進ビジョンの策定 (10,001 千円)

指標設定によるレガシー形成の「見える化」や、パラムーブメント推進フォーラム等を通じた意見を参考としながら策定作業を進める。

- かわさきパラムーブメント推進ビジョン (第 2 期) の策定
- 推進フォーラムの運営 等

障害者スポーツの普及促進 (※12,481 千円)

障害者スポーツの体験や障害のある人が身近な場でスポーツに親しめる環境づくりを進める。また、障害者スポーツ関連事業を健康福祉局から市民文化局へ業務移管し、本市スポーツ事業として一元的に推進する。

- 「パラスポーツやってみるキャラバン」【市民スポーツ室】
- ★各区スポーツセンターでの障害者スポーツの取組の推進等【市民スポーツ室】
- ★障害者スポーツ備品 (競技用車椅子) の購入【市民スポーツ室】

推進ビジョンに基づく各種プロジェクトの展開 (15,150 千円)

多様な主体の連携により「かわさきパラムーブメント」の推進につながる取組を展開する。

- 「インクルーシブなカワサキハロウィン開催」
- ジュニアアスリートの支援【市民スポーツ室】
- 「飲食店支援事業 アクセシブルシティかわさき (ぐるなび連携)」
- ★「市内宿泊施設のバリアフリー化支援」
- ★「小中学生とオリンピック・パラリンピアンとの交流推進事業」【教育委員会】
- ★「生田緑地におけるバリアフリー観光支援」
- ★「武蔵小杉駅及び川崎駅周辺地区におけるバリアフリー調査及び対応方針検討等支援」
- ★「アール・ブリュット支援事業」

JOC パートナー都市関連事業 (1,455 千円)

JOC とのパートナー都市協定に基づき、オリンピックの価値などを子ども達に伝えるオリンピック教室等を開催する。29 年度は JOC が毎年パートナー都市との共催で開催する「JOC スポーツと環境地域セミナー」を本市において初めて開催する。

- JOC オリンピック教室
- ★JOC スポーツと環境地域セミナー

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの展開 (※7,843 千円)

障害がある方もない方も一緒に文化芸術活動に携われる環境づくり、観賞できる環境づくりを進めるとともに、東京大会に向けた文化プログラムを展開する。

- ★パラアート推進事業【市民文化振興室】
- ・障害者等の文化芸術活動を促進する環境や体制 (パラアートプラットフォーム) を構築するための準備会議の開催
- ・展覧会等のモデル事業の実施

事前キャンプの受け入れ準備 (4,286 千円)

英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプ受け入れに的確に対応するため、実施競技や関係機関との協議等を行う。

- 英国オリンピック・パラリンピック代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた対応
- IPC 世界陸上事前キャンプ地視察等調査



交流やおもてなしの取組の推進 (6,740 千円)

英国を相手国とするホストタウンの取組を進め、東京大会への気運醸成や英国との交流、さらには「おもてなし」のための人材育成に向けた取組を推進し、事前キャンプの受け入れを契機とした交流の絆づくりを進める。

- BOA との協定に基づく交流事業の企画
- ブリティッシュ・カウンシルとの連携事業
- ・市内文化施設職員等を対象とした WS など、多様性に配慮した芸術活動を推進する企画の実施
- 庁内外からの交流事業提案の募集や、既存事業を活用した講座等の開催



ミュージックワークショップの様子

広域連携による取組やその他経費 (2,177 千円)

- 九都県市 2020 東京オリンピック・パラリンピック連携会議、地域活性化推進首長連合など、広域連携による取組の推進
- その他経費

平成 29 年度予算

合計 59,809 千円

(※印の事業費は市民スポーツ室、市民文化振興室予算のため除く)